

第3号 2003年10月1日発行

発行 茅ヶ崎市民活動サポートセンター
編集 特定非営利活動法人 茅ヶ崎市民活動サポートセンター管理運営委員会

〒253-0041 神奈川県茅ヶ崎市茅ヶ崎 3-2-7
TEL&FAX 0467-88-7546
E-mail s-center@pluto.plala.or.jp
URL http://business2.plala.or.jp/support

予期せぬ事故に備えるために、

NPO 実務
講座 開催のお知らせ

「知って安心、市民活動に関する保険の知識」

日 時 2003年10月25日(土) 14:00~16:30

場 所 茅ヶ崎市民活動サポートセンター

講 師 • 茅ヶ崎市市民活動保険 茅ヶ崎市市民活動推進課 職員

• 神奈川県ボランティア事故共済 (社)神奈川県青少年協会 佐野 光夫 氏

• NPO活動総合保険 A民間損害保険会社

内 容 1. 各種保険のメリットとデメリット

2. 契約パターン別での保険金支払額の具体例

3. 活動分野別の保険適応の具体例

定 員 50名 (電話または直接サポートセンターに申し込みください)

企 画 特定非営利活動法人 茅ヶ崎市民活動サポートセンター管理運営委員会

主 催 茅ヶ崎市民活動サポートセンター

市民活動団体の皆さん。「自分たちの活動には事故なんて関係ない」と思われていませんか?でも予測できないのが事故です。

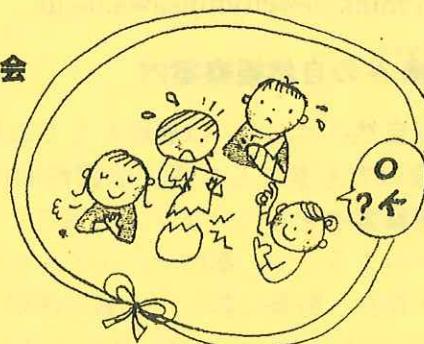
例えば、 • ボランティア活動に向から途中、交通事故でケガをした。

• 提供した飲食物が原因で食中毒事故が発生した。

• 活動するために、借りてきた機材を不注意で壊してしまった。

• 参加したお年寄りが転倒して手首を骨折した。

• 一時預かり中にボランティアが目を離した隙に、幼児が高所から転落してケガをした。



事故が発生し主催者や参加者またはその他の第三者に損害をあたえ、法律上の賠償責任を負ったような場合や、参加者が事故で受傷したような場合に補償されるのが市民活動保険やボランティア保険です。自発的に行うボランティアや市民活動は自己責任でみんなのため(公共のために)活動しています。その活動中に事故が発生した場合、社会責任をだれがどのような形で負担していくのでしょうか。

茅ヶ崎市民活動サポートセンターでは、市民活動団体の方々が安心して活動していただけるよう、三種類の市民活動に関する保険をご紹介する「NPO 実務講座」を企画いたしました。

当日の講座はどなたにも解りやすいよう、実例を交えてクイズ形式をとりながら進めてまいります。皆さまの積極的なご参加をお待ち申し上げております。

市民活動レポート

特集:ユースボランティア2003—青少年の夏ボラ体験記—

主催 (社福)茅ヶ崎市社会福祉協議会 (0467-85-9650) (社)神奈川県青少年協会 (045-402-0346)

茅ヶ崎市民活動サポートセンター (0467-88-7546)

今年も7月20日から8月22日の約1ヶ月間、多くの市民活動団体の協力により青少年を対象にしたボランティア活動体験が行われました。これは青少年が、希望する活動に自主的に参加できるボランティア体験です。今回、参加された青少年から多くの素直な感想文が寄せられました。その要約集を特集しましたのでご一読ください。—4~7ページに掲載—

情報ひろば

*掲載情報についての詳細は各イベント主催団体等へ直接お問い合わせ下さい。

イベント

気持ちいい・湘南のたてものづくり展

「自然・簡素・気持ちいい」をテーマに、風が通り太陽を浴びて、ここちいい音色を感じられる住宅・幼稚園などの模型・パネルを中心に展示します。湘南の気候に適した建物づくりを模索していきます。11日 19時30分から、シンポジウム「考えてみませんか、気持ちいいたてものを」開催。きもちのいい公共建築と住まいがテーマ。定員先着60名

日 時 10月9日(木)~12日(日) 10:00~18:00

場 所 ハスキーズギャラリー(山治ビル6階)

問合せ 気持ちいい湘南のたてものづくり

実行委員会事務局 三澤 譲

TEL 87-8959 FAX 57-7611

e-mail: mmk-ae@cityfujisawa.ne.jp

柳谷の自然観察案内

「柳谷自然に学ぶ会」は原則として毎月第4曜日に一般の方も参加して里山公園西側にある柳谷の自然観察案内をしています。10月のテーマは「秋の柳谷をみよう」で、案内マニュアルを用意しており植物・昆虫・野鳥に詳しい会員が説明します。

11月9日はレインボーフェスティバルがあり、当会では一般のかた向けの柳谷散策会を行います。散策案内図を用意しており、茅ヶ崎では珍しい6万年前の地層が露頭している場所も案内します。

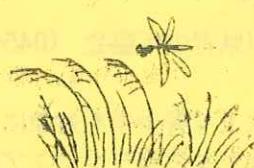
日時 場所

10月26日(日) 茅ヶ崎里山公園 風のテラス
10:00 集合

11月 9日(日) 茅ヶ崎里山公園 風のテラス
受付 10:00~12:00 出発 13:00~

問合せ 柳谷の自然に学ぶ会

TEL/FAX 0467-51-8489 (野田)



市民活動に関するイベントや講座、ボランティア募集など市民の皆さんに役立つ情報を掲載します。また掲載希望の方は奇数月15日までにサポートセンターへ情報をお寄せ下さい。

ホルンとピアノコンサート

昨年に引き続き2回目のチャリティ・コンサートです。茅ヶ崎在住、楠山光彦さんのホルン、楠山裕子さんのピアノによるデュエットで、よく耳にするクラシックの小曲の演奏を楽しんでください。

プログラムには童謡やディズニィメロディもありホルンのすばらしい音をじかに聞けます。

ご家族そろっておいでください。

日 時 11月2日(日) 会場 13:30 開演 14:00

場 所 茅ヶ崎市勤労市民会館

入場料 1500円

問合せ 女のホットライン・湘南

FAX 0467-58-1846

<http://members.jcom.home.ne.jp/soodan.by-tel/>

ドメスティック・バイオレンスを知る

今年はDV法(ドメスティック・バイオレンス法)の成立後3年になりますが、被害者相談は一向に減少していません。年齢層・人種・社会的階級にかかわらず、どんな所にもDVは起こり得ます。犯罪であり社会全体の問題であるDVの現状を武藏大学非常勤講師・守 如子(モリナオコ)氏が解説します。

是非公開講座にご参加ください。

日 時 10月25日(土) 10:00~12:00

場 所 茅ヶ崎市女性センター 大会議室

問合せ 女のホットライン・湘南

TEL 0467-58-1846(火・木)

<http://members.jcom.home.ne.jp/soodan.by-tel/>

第2回茅ヶ崎地区コミセンまつり

地域各団体、利用者団体の活動や創作成果の発表。

パフォーマンス: 太極拳、手品、フラダンス等

模擬店: 焼きそば、綿菓子、ポップコーン

その他: フリーマーケット、体験コーナー、

子供の家イベント、大抽選会

日 時 11月23日(日) 10:00~16:00

場 所 茅ヶ崎地区コミュニティセンター

問合せ TEL 0467-88-7522

講習会

ごはん食普及料理講習会

お米は元気のもと！

日本型食生活を見直す料理講習会です

日 時 10月 17日 (金) 10:30~14:00

場 所 茅ヶ崎保健福祉事務所 2F 栄養指導室

費 用 100円

持ち物 エプロン 三角巾 筆記用具

メニュー*さつまいもと枝豆のおこわ

*スペニッシュオムレツ

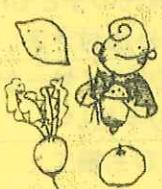
*トマトとわかめのサラダ

*かぶと油揚げの味噌汁

申込み先 食生活改善推進団体 茅波会

飯塚 洋子 TEL 52-7620

締切日 10月 10日 (金) 先着 32名



ヘルスサポーター21事業料理講習会

「健康日本21」をふまえて、貴女の生活習慣を見直してみませんか

日 時 11月 28日 (金) 10:00~15:00

場 所 茅ヶ崎保健福祉事務所 2F 栄養指導室

費 用 100円

持ち物 エプロン 三角巾 筆記用具

メニュー*豚肉とアスパラガスのふんわり卵

*カボチャのいとこ煮

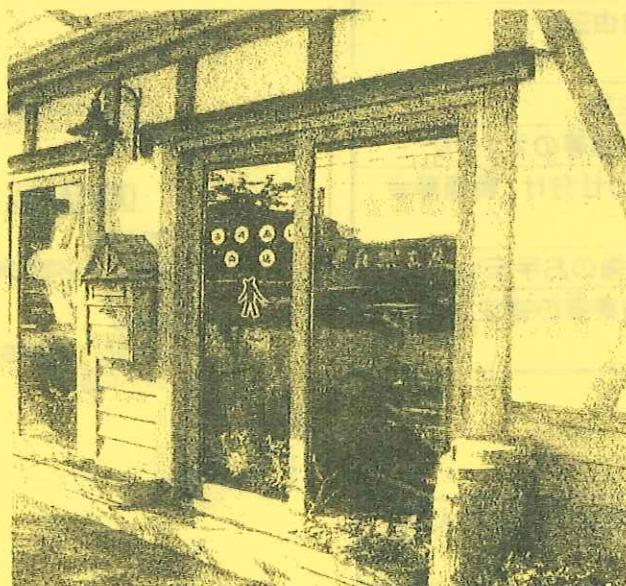
*わかめと野菜のサッパリスープ

*デザート

申込み先 茅ヶ崎市食生活改善推進団体

飯塚 洋子 TEL 52-7620

締切日 10月 31日 (金) 先着 32名



お知らせ

おいしい自然保護

湘南タゲリ米販売のお知らせ

一袋のお米 5kgを食べると、8畳分の野鳥“タゲリ”の越冬地西久保水田の保護につながります。

「湘南タゲリ米」は茅ヶ崎でとれたまじりのない粘りと輝きと味がよい天日干しの新米限定です。

タゲリは遠くシベリアから来て 10月下旬から翌年3月上旬まで田んぼの土の中の害虫などを食べて越冬します。カラス位の大きさで1度出会うと虜になります。

連絡先 三翠会

茅ヶ崎市東海岸 2-8-2

河村 まき子 090-3098-1944

「赤とんぼ」の短歌募集

名曲「赤とんぼ」は山田耕筰氏が茅ヶ崎在住の昭和2年に作曲されました。私達は耕筰氏の偉業を学習し発表すると共に名曲を歌い継ぎ、穏やかな心の育成をめざす活動をしています。今、「赤とんぼ」の短歌を募集しており、優秀作には曲をお付けして、「赤とんぼ」の会で発表させていただきます。

奮ってのご応募をお待ちしております。

締切日 12月 25日(木)

連絡先 「山田耕筰」と「赤とんぼ」を愛する会

田中敏子 TEL 52-6184



NEW「ふれあいの店」開店！

昨年夏よりラジエント通りにて営業させていただいた「ふれあいの店」が、この度移転し新たに2地域でOPENいたしました。

店内では前店同様、茅ヶ崎・寒川・藤沢地区にある障害をもつ方の作業所・施設・関係団体の自主製品を販売しております。お近くにおいで際には、是非お立ち寄りくださいね！

場 所 茅ヶ崎市東海岸北2-12-36, 070-5135-4367

菱沼 3-1-37 54-9988(呼)小和田センター内

連絡先 神奈川県障害者地域作業所連絡協議会

湘南東地区 TEL 070-5135-4367

原田 香里 山崎 恵美子

特集「2003夏ボラ体験」レポート

感性が豊かで、好奇心が旺盛な青少年にとって、夏休みは学校や家庭という狭い世界から、多様な価値観のある社会に出て、主体的に活動できるまたとない機会になります。

この夏休み期間中に、ボランティア体験を通してこの社会の現実を肌で感じ、社会的な問題を考えたり、人ととの交流、ふれあいの大切さを体験する「ユースボランティア2003」が開催されました。参加した青少年の数は52人で、多くの方は2ヶ所で体験活動をしました。活動の場を提供された受け入れ団体は19団体にもなりました。

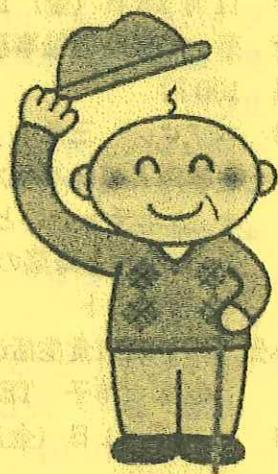
2003 ユースボランティア受入団体一覧

受入団体名	活動体験内容
萩園ケアセンター	高齢者ディサービスセンター利用の高齢者とのふれあいを中心としたもの
パーソナルサービスセンター 「トムトム」	ハンディキャップをもった学齢児の子どもたちと公園や遊びの施設などへの外出付き添い
カトレアホーム	入居者の話し相手、入浴後のドライヤーかけ…洗濯物たたみ、シーツ交換の手伝い
ブルーベリー	作業(タイルアート、紙工芸、ひも細工)、創作(絵画、工芸)、散歩など
いずみ	作業(宅配便袋作り、メモ帳作り、木工)、創作(絵画、手織り)、散歩、体操など
湘南鬼瓦	作業(キャンドル、ボール袋詰め、アルミ缶つぶし)、創作(絵画、貼り絵)、散歩など
NPO法人相模川倶楽部	障害者向けの駅周辺の生活マップづくり。GPSを使って障害者のニーズにあったマップを作る
柳谷の自然に学ぶ会	里山の保全活動。草刈り、湿地の手入れ、カエルのための池作り、その他
TSSA(ザ サーフ サーフィン グ アソシエーション)	海岸美化活動、ごみ清掃、
ほのぼのビーチ実行委員会	海岸美化活動(ビーチクリーンアップ)
クソ下ローカルズ	海岸美化活動
西久保保育園	保育室に入って乳幼児とのかかわる保育体験、簡単な保育士の仕事
学童保育所 たんぽぽクラブ	保育の手伝い(遊びを共有する:プール遊びや工作)
子育て支援ボランティアグループ きらきらぼし	乳幼児の保育、水遊び、自由遊び
柳島青少年キャンプ場	キャンプ所の管理手伝い全般
湘南動物愛護会	施設の掃除、犬の散歩、犬猫等のえさやり
文教ボランティアーズ 文教大学	東チモールへの救援物資の仕分け、街頭募金
茅ヶ崎にほんごの会	外国人の方の日本語の勉強のお手伝い
ソーリングボックス	元町ケアセンターで手芸作業者の補佐、話し相手

参加者一覧

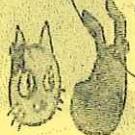
	中学生	高校生	専門・短大生	大学生	社会人	総人数
参加者	34	9	3	5	1	52

2003年の夏休み
新しいことの体験!!



〈夏ボラ4カ条〉

- ① 集合申し込み
- ② オリエンテーションにて行き先を決める
- ③ 体験をする
- ④ 「トーク＆ヒーク」で体験を感じたことをしゃべってみる

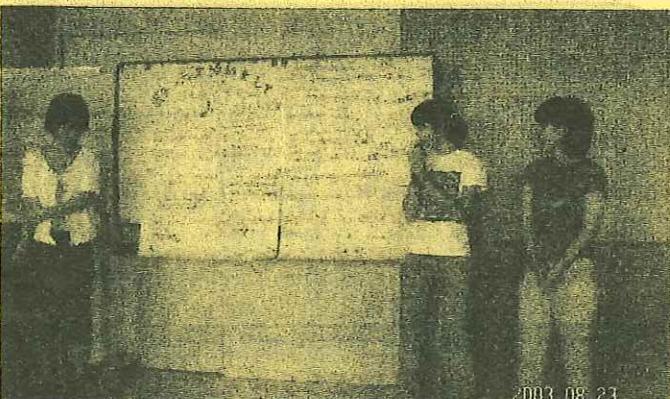


パーソナルサービスセンター「トムトム」とソーリングボックスにそれぞれ2日参加。

学齢障害児と共に歌い、踊ることで、感じたままを素直に、それも感情豊かに表現する姿にふれる貴重な体験をした。ソーリングボックスではお年寄りの「楽しい」「嬉しい」「ありがとう」の言葉に包まれ、とても嬉しくなった。ここで、これからもボランティアをつづけることになった。

西久保保育園で1日目は5歳児、2日目は2歳児、3日目は1歳児の保育体験。ふれあいだけではない、幼児の発する表現や表情から子供の気持ちを読むことの大切さを教わる。夏休みにこんな貴重な体験が出来てよかったです。この体験を進路に役立てたい。

子育て支援ボランティアグループ「きらきらぼし」に参加。子供たちは同じ目線で笑顔で接すれば、素直に反応が返ってきます。楽しい！！かわいい！！を体感した毎日でした。また子育て中のお母さんにとっても悩みや苦労を共有し、話し合い、相談し合う大切な場です。私は将来のためにと思い参加しましたが、期待以上のものを得ることが出来た。



2003.08.23

海岸クリーンアップ活動に参加。雨模様の天気の中80人ほどの人が集まつた。東京からも中学3年の子供たちが参加していた。遊びに来た人たちが自分で始末すれば…。なぜ、人間はこんな簡単なことが出来ないのか。一人一人が環境を守ることを意識して行動すればきれいな海岸が取り戻せることを周りの人々に伝えて行きたい。

湘南動物愛護会で犬の世話をした。仕事は想像以上の大変さでした。犬を飼うことはいいことだと思います。心が癒され、いいパートナーになるかもしれません。でも、いいことばかりではなく、世話の大変さや病気のことときちんと理解し、それでも飼えるというなら飼うべきだと思います。後始末は人任せ、無責任は新たな悲劇を生むだけです。私はこの経験ができてすごく良かったです。

たった3日間しか体験は出来なかつたけど、子供のめんどうを見るのがここまで大変とは正直思つていませんでした。1日でノックアウトてしまい、自分がちょっと情けないといました。しかも、保育園でたつた1人の男性保育士の人がいたんですけど、よく1人で女性にかこまれていても仕事をするなんてすごいと思いました。

萩園ケアセンターで初めてボランティア活動に参加しました。1日目は不安で、私に出来るのかとも思いました。この日、1人のおばあちゃんとすごく仲良くなれました。いろんなお話をしても一緒に遊びました。名前もフルネームで覚えたんです。帰り際に、「本当の孫みたい。他人とは思えない」と言われ号泣されちゃいました。すごく嬉しくて私ももらい泣きしちゃいました。

学童保育所「たんぽぽクラブ」で小学生のお子さんと3日間一緒に生活させてもらいました。一番強く感じたことは集団の子どもと関わるときに、それぞれの子どもの要求に応えることは大変難しいということです。それと、今後ボランティア活動をするに当たっては、相手の生活の場に踏み込んでいる事を念頭におき、相手の立場に立てるようになりたいです。

柳島青少年キャンプ場での仕事は少なかつたけれど、『仕事の量でなく、来ることがボランティアなんだよ』といわれ、来て良かったと思った。海岸清掃をしていると周りの人々と一緒にゴミ拾いをしてくれたので、いい気分になった。また西久保保育園では、子どもたちが駆け寄ってきて声をかけてくれるので心がいやされ、保育士になることが夢の僕にとってよい体験でした。

茅ヶ崎海岸と汐見台に海岸清掃に行きました。タバコ、花火、ビン、缶、菓子袋などゴミが多いのにびっくり。自分達が遊ぶ所をなぜこんなに汚すのか。せめて自分のゴミくらい持ち帰って欲しいものです！また、キャンプ場では竹筒に米、貝などを入れたご飯づくりをしました。小・中学校のキャンプ以来で、まき割りは初めての体験。機会があれば他の体験もしてみたいです。



動物が大好きなので「湘南動物愛護病院」に行つたが、台風の影響で3時間位しか体験出来ませんでした。皿洗い、洗濯や窓拭きなど雑用的なことだったけれど心を込めてやりました。病院の獣医さんから『自分達も動物の世話だけでなく、いろんなことを誇りをもってやっているんだよ』と教えられ、深く感動しました。また、機会があればやりたいと思いました。

子育て支援ボランティア「きらきらぼし」で3日間体験しました。赤ちゃんはおもちゃなど手にしたもののはすぐに口に入れるので目が放せません。元気いっぱい走り回るのが3才位、積極的に話しかけてきました。時にはラブランでっこも。小さい子の相手をしていると結構体力も使うけど、楽しい体験でした。幼稚園教育科の短大を目指している私。絶対保育士になってみせます。

動物病院に行きました。まず犬の散歩をしました。近くに空き地があるのでそこまで散歩をさせ、トイレを済ませたら戻ってくるのです。それを私は三回やりました。その犬達の散歩は大変だったけど、ものすごく楽しく、おもしろかったです。次に洗濯物を干しました。そして次は部屋の掃除、私は水ぶきで、ふいていると犬達が「ワン、ワン」とほえていました。少しうるさいと思いましたが、しっぽをふっていたので少し楽しくなってしまいました。

湘南動物愛護病院とクソ下ローカルズでボランティアをしました。動物病院での手伝いは思った以上に大変でした。洗濯物も沢山あるし、掃除は毎回塩素をかけなければいけないので、これを毎日やるのは大変だと思いました。クソ下ローカルズでは海に沢山ゴミが落ちていてピックリしました。ボランティアという言葉を聞くと、今までつまらないイメージがあったけど、やってみて、けっこう楽しかったです。それに誰かの役にも立てたので良かったです。

今回、ほのぼのビーチ実行委員会、くそ下ローカルズ、柳島キャンプ場の3種類のボランティアを体験しました。まず、ほのぼのビーチとくそ下ローカルズは海のごみひろいです。お菓子のごみや空き缶、たばこなどがほとんどでした。海のごみひろいはしようと思ってもなかなか出来ない事なので今回参加出来て良かったです。

柳島キャンプ場には二日間行きました。テントをはったり、トイレそうじをしたりしました。キャンプ場でのボランティアでは、普段出来ない、色々な事が体験出来たのでとても良かったです。今回、今まで耳にするだけでなかなか実行できなかったボランティアに参加できて良かったです。これからも機会があればどんどん参加していきたいと思います。

萩園ケアセンターでボランティア活動をしました。初めは少し不安でしたが、実際にケアセンターへいってみると・・・最初の不安は徐々になくなり、高齢者の方々のおかげで、とっても楽しんで活動できました。

3日間のボランティア活動を体験して感じたことは、元気で明るい子供たちが多かったです。何でも言い合いをしたり反発したりする子もいて、先生たちも本気で叱っていました。子供たちが間違っている事をしている時は叱るのは大事だと言うことを実感しました。色々ストレスを抱えて、学童で発散しているのだとわかり、学校とは違い、子供達のそれぞれの個性を大切にしているような学童だと思いました。

萩園ケアセンターにボランティアに行き、お年寄りの方達とお話をしたりケアセンターの夏祭りに参加して「お年寄りの方達は大きな声で笑ったり」と、明るくて元気でござんなあーと感じました。それに普通のチラシからカゴを作ったり、折り紙で花を作ったりとお年寄りの知恵を生かした作品などもたくさん作っていて、萩園ケアセンターに行き、改めてお年寄りの方達はござんなあと尊敬しました。

初めてボランティアに参加してこんなにいろいろな種類があるとは思わなかった。その中で私は【湘南動物愛護会】にいっていろいろとお手伝いをした。とても楽しかった！！ 動物は大好きだったんですけど、アレルギーが出てしまい、少し早めに帰ったりしてザンネンでした。(。_。) ペコリ
最後に、また機会があったらよろしくお願ひします。(。^。^) ペコリ

総合学習の授業でボランティアについて調べており、実際に体験するために応募した。「ブルーベリー」に家族の一人が働いていたので、ここで3日間過ごした。訪ねてくるメンバーさんと一緒にタイルアートや紙すきの作業をした。昼食時、味噌汁やお茶を入れてもらい逆介護されてしまった。一緒に話をしたり、食事をしたりしているとボクと障害者ではなくボクと一人の人間って感じになってきた。「障害者は不便である。しかし不幸ではない。」(乙武洋匡)まさにその通りだとボクは思った。次の機会には動物愛護や、環境保全などなどチャレンジしていこうと思っている。

普段、川崎の方で知的障害者のガイドヘルパーとボランティアを兼ねて活動している。地元でも何かしてみたいと思いこのユースボランティアに参加した。この体験はわたしの今までの価値観、認識を大きく変えさせてくれた。今まで経験してきたことはほんの1部でしかないことを痛感させられ、いかに主観的に物事を見すぎていたかを思い知らされました。いくら普段から障害者と接しているからといって、10人いれば10通りの性格があるように、初めての方と出会えば、その人のことを1から知らなければならないし、人との接し方も経験があっても100%正しい方法や答えはない。だからこそやりがいのある分野なのだと強く感じました。また学童保育所でのボランティアでは、今までのわたしの固定観念を打ち破ってくれました。「2日間だけしかいないの?」「もうここへは来ないの?寂しいよ」そう言って握った手を離そうとしない子供たちに、急に切なくなる自分がいました。現代の子供達は冷めてなんかいない、素直で自分を持っている子どもばかりだと人に自信をもって伝えたいです。この夏の体験から言えることは、ボランティアをする側、される側一方が満足するだけではなく、お互いの関係が成り立つて始めて良いものが生まれるのだと強く実感した。学生生活も残りあとわずか、自分は何をすべきか、この経験を生かしてじっくりと考えて前に進んでいこうと思っている。

子育てボランティアグループきらきらぼしと茅ヶ崎にはんごの会のボランティアを希望したが、台風の影響と日程の都合できらきらぼしに1日だけ参加した。7月21日、夏休みも始まったばかりの日でした。もしかしたら今日は来ないかも知れないと言われていたので、一人来た時はとても嬉しかった。近くの学校を利用して、子育てなどでストレスがある親は親同士で話をする、子どもは子どもで遊ばせる子育て支援、私はとてもいい事だと思いました。また親と子のコミュニケーションをとる場でもあるので、今の時代に欠けているものがここにはあったと思いました。

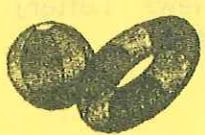
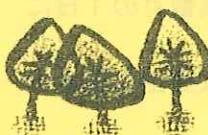
今回カトリアホーム、動物愛護協会、茅ヶ崎にはんごの会のボランティアを体験させていただいた。一番印象に残ったのは茅ヶ崎にはんごの会での2日間の体験です。ボランティアの内容は語学ツアーオ手伝いということで、日本語を習っている外国人が、時には自分の国の言葉を教えて交流を図るイベントの事前準備などをした。1日目のスペイン語の時に、簡単な自己紹介をする対話をすることになり、頭がパンクしそうになってしまいました。私の将来の夢は、英語を使った仕事につくことです。この活動をしてさらに将来の夢を実現させたいという思いが強くなっていました。受験が終わったら、またボランティア活動をしていきたい、できれば来年もこのユースボランティアに参加したい。

8月2日、西久保保育園に着くと、子ども達は柵の中で遊んでいて、先生達は柵の外で見守っていた。子たち達はすぐに私を受け入れてくれて嬉かった。慣れてくると髪の毛をひっぱったり、ドロップキックをしたりと、体はボロボロだった。先生達はこんな子ども達相手に大変だなと思った。

その後、とても驚いたことがあった。手を洗うのをぐずっていると先生は、きつく叱ったり、泣いている子がいると、きつく怒っていた。学校でも、家にいても、私の周りには“叱る”“怒る”なんてめったにないので慣れていたかった。叱ることができる先生も、叱られる方の子供達もすばらしいと思って、叱ることの大切さを実感した。

昼寝の時間、先生はお菓子をもってきて、世間話を始めた。ここでも、私は驚いた。仕事中にいいのかと思うと複雑な気持ちだった。

子ども達とふれあうこともできだし、保育園の裏側もわかった気がして、自分が少し成長した気がする。これから、もっといろいろな体験をしたい。



ちがさき市民活動 サポートセンター

お知らせ

『市民活動団体ガイドブック』2003年度版

11月発行予定

2003年度版の活動団体ガイドブックは皆様方のご協力により11月に発行予定となりました。

この版には約180団体からの申込みがありました。サポートセンターのホームページへの掲載は随時受け付けておりますので窓口までお越しください。

利用者の声

Q：サポセン内に飲み物の自動販売機を設置して欲しい。

A：当館建設当時の検討委員会で設置場所、環境問題(瓶缶の回収、電力の消費など)を考慮し設置しないことにしました。ご不便とは思いますがご協力を願いいたします。

Q：サポセンへのアプローチ(歩道から入り口まで)の点字ブロックが滑りやすく危険です。早急に対策をお願いします。

A：11月に予定しております水害対策工事の中で点字ブロックの改善についても対応していく予定です。

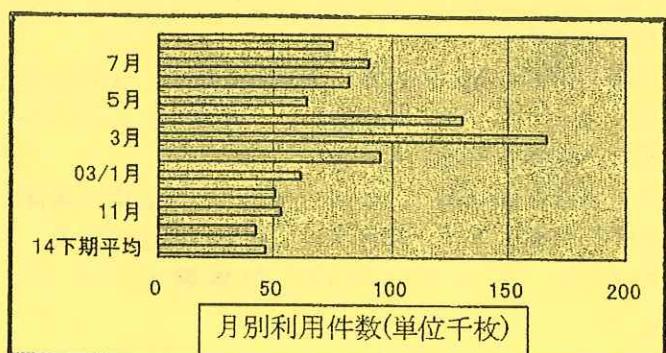
Q：サポセンの看板に利用時間や休館日、施設の案内などを表記しサポセンをPRしたら。また利用案内、パンフレット、ニュースレターなどで文字の小さいものは、読みにくいので大きくして欲しい。

A：ご要望にそろそろ出来るものから速やかに実施していきます。

利用状況

当センター印刷機の稼動実績は総枚数118万枚にもなっています。そのため印刷の仕上がりが多少落ちてきています。この状況を改善するため、

市では、来年度の印刷機の増設等も含め、対策を検討しています。



さまざまな分野の市民活動やNPO、ボランティアなど非営利で社会に貢献する活動をしている人、これから始めたい人達のための拠点施設です。

会館時間 午前9:30～午後9:30

休館日 毎月第3水曜日

年末年始 12/28～1/3

サービスメニュー

フリースペース 会議・打ち合わせ(予約不要)

作業コーナー

・印刷機

(用紙持込1製版500枚まで100円)

・紙折り機(無料)

・コピー機(1面10円)

・ラミネート(A3/200円、A4/100円)

ロッカー

使用料

月200円(現在空きなし)

レターケース

郵便/Fax

の仲介可(無料)

情報コーナー

インターネットによる情報検索(無料)

無線LANにて印刷できます

パソコン

作業用貸し出し(5台)

サポートメニュー

◇ちらし・ポスターの展示・掲載(要申込/無料)

◇市民活動やボランティア関連情報の提供

◇市民活動やボランティアに関する相談・助言

市民公益活動団体データベース登録(随时)

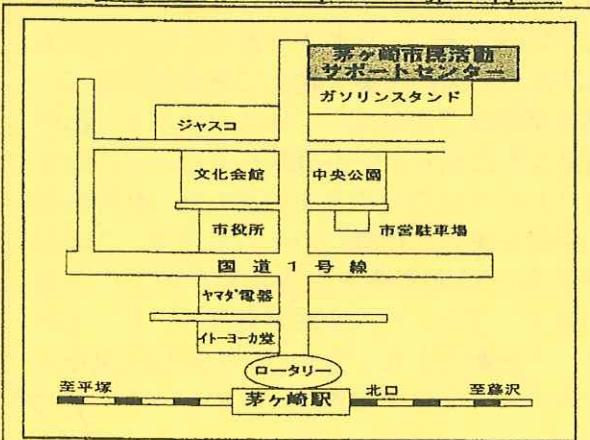
アクセス

〒253-0041 茅ヶ崎市茅ヶ崎3-2-7

Tel/Fax 0467-88-7546

E-mail s-center@pluto.plala.or.jp

URL <http://business2.plala.or.jp/support>



この「News Letter」は年6回偶数月の1日に発行します

イラストは柴田香織さん

助成金情報

平成 16 年度社会福祉・医療事業団

四基金の助成事業募集のお知らせ

- ◆子育て支援基金
- ◆長寿社会福祉基金
- ◆障害者スポーツ支援基金
- ◆高齢者・障害者福祉基金

- ・応募期間 平成 15 年 9 月 1 日～10 月 31 日まで
- ・助成対象 公益法人、社会福祉法人、NPO、法人格のない任意に設立された団体等で、助成事業の実施体制が整っているもの
- ・助成額 1 事業当たりの助成額は、事業内容を勘案して定めるが、200 万円を限度とする。
- ・募集内容、応募方法等については下記にお問い合わせ下さい。

◆問合せ先

〒221-0835

神奈川県横浜市神奈川区鶴屋町 2-24-2

神奈川県民センター 12 階

(福) 神奈川県社会福祉協会

かながわボランティアセンター

「こども未来賞」エッセイ募集

子育ての喜び、親子のふれあいなど、育児体験は悲喜こもごも人間ドラマです。子育てについてさまざまな体験のエッセイを募集し、未来を担う子どもの大切さについて、多くの人達に情報を提供します。

応募規定 *自作の未発表・未投稿作品に限ります

- *応募は 1 人 1 作品に限ります
- *400 字詰め原稿用紙 4~6 枚 (ワープロ可)
- *作品の表紙には題名、氏名 (ふりがな) 生年月日 (年齢)、性別、職業、〒、住所、連絡先 TEL(あれば FAX も)

応募締切 平成 15 年 11 月 14 日 (金) 当日消印有効

発表 平成 16 年 2 月中旬に、こども未来財団賞

読売新聞社賞他、読売新聞紙上で発表

表彰 こども未来財団賞 1 編 賞状盾と賞金 30 万円

読売新聞社賞 1 編 賞状盾と賞金 20 万円

入選 5 編 賞状盾と賞金 5 万円

佳作 5 編 賞状 盾

応募先 〒104-8825 東京都中央区京橋 2-9-2

読売新聞東京本社事業開発部「こども未来賞」係

TEL:03-5159-5886

主催 こども未来財団、読売新聞社

WWF ジャパン (財団法人 世界自然保護基金

ジャパン)作文コンクール

応募資格 日本在住の中学生・高校生

応募方法 400 字詰め原稿用紙 3 枚以内、それに準じる量、未発表の作品に限る

作品には表紙をつけ、下記を明記する

*作品タイトル (タイトルは自由)

*〒住所 (都道府県名明記)

*電話番号

*学校名・学年

*学校住所・TEL

*氏名・フリガナ

*生年月日および年齢

*性別

*応募動機

締切り 2003 年 10 月 31 日 (金) 当日消印有効

発表 2004 年 1 月入賞者に文書で直接通知

賞 最優秀 10 名 他

賞状 記念品 環境保全視察団視察旅行
(スウェーデン・スイス 8~10 日間予定)

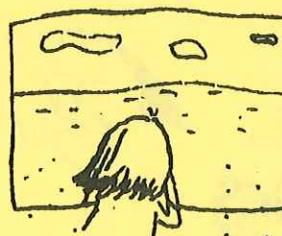
文章力、表現力、自分なりの視点を持っているか、疑問点等を調べる努力をしているか、環境に配慮した行動を実践しているか、提案が独創的か等を審査

応募先 問合せ TEL03-5366-1957

〒160-0002 東京都新宿区坂町 26 コモンズ 4F

「かけがえのない地球を大切に」

作文コンクール事務局



懸賞論文「豊かな福祉社会を創るために」

テーマ 「高齢者、障がい児・者との出会い」「ここに響いた体験」など福祉の現場で感じたこと、考えたこと。

対象 東京都内在住・在勤・在学の方

- * 学生の部（中学生～大学生、専門学校生等）
- * 専門職の部（高齢者及び障がい児・者福祉施設等の職員の方、在宅福祉現場で働く方）
- * 一般の部（高齢者及び障がい児・者介護に関する体験を持つ方）

応募方法 A4版400字詰め原稿用紙2枚以上5枚迄
横書き、ワープロ、手書き共に可能。表紙に
氏名（ふりがな）〒・住所・TELこの懸賞
論文を知ったきっかけを記入

学校名・学科・学年・所属団体・担当業務

応募送付先

（財）東京YMCA 会員部内懸賞論文募集係

〒135-0016 東京都江東区東陽2-2-20

TEL 03-3615-5568 FAX 03-3615-5608

締切り 2003年10月31日（金）

賞品 最優秀賞 各部1点（5万円の奨励金）

優秀賞 各部3点（2万円の奨励金）他

問合せ 東京YMCA広報部・担当：尾寄敦子

TEL 03-3615-5562 FAX 03-3615-5608

ありがとう

今回は、多くの市民や活動団体、並びに企業の方々からご提供いただいた、たくさんの寄贈品ありがとうございました。後日、現地での支援活動状況についてはご報告いたします。

文教大学 文教ボランティアーズ

グローバルサークルTeam One

メンバー一同

